

～林業專業で地域の森林を守る！～

## 舘野 勉 さん（久万高原町（旧柳谷村））

愛媛県指導林家  
1959年生まれ



### ☆経営概況☆

所有森林 約60ha（スギ・ヒノキ） 経営受託森林 約25ha 田畑30a

### ☆ここがポイント☆

#### ■自分たちの山は自分たちで管理！

久万高原町は優良材の産地として有名ですが、最近では高齢化や後継者の不在などにより、森林の管理を森林組合に委託する森林所有者も増えています。そのような中、「**自分たちの森林は自分たちで管理する**」をモットーに、**質の揃った優良材**の生産を目指して頑張っていますが、所有者が自分で施業ができなくなった一部の山は、地域の中で管理を引き受けています。

平成26年度からは、高率の補助事業が導入できるよう、地域の所有者と共同で「森林経営計画」の策定に着手し、平成27年度に認定を受けることができました。今後は、この計画に沿った施業を実施し、より良い地域の山を作っていきます。

#### ■少人数で生産性を上げる！ 【機械化林業】

基本的に山での仕事は子供と二人でやっているのですが、生産性と安全性の面から機械化は欠かせません。グラップルとウインチが付いた小型のバックホーや運材車の他に、5tのプロセッサ、5tのフォワーダ、6tのスウィングヤードを使い分けています。また、機械の能力を十分に発揮できるよう、**林内路網密度300m/ha**を目安に作業路を開設しています。

最近、自分の山も含めて8～9haの間伐を実施し、700m<sup>3</sup>前後の木材を生産しています。



作業路開設風景

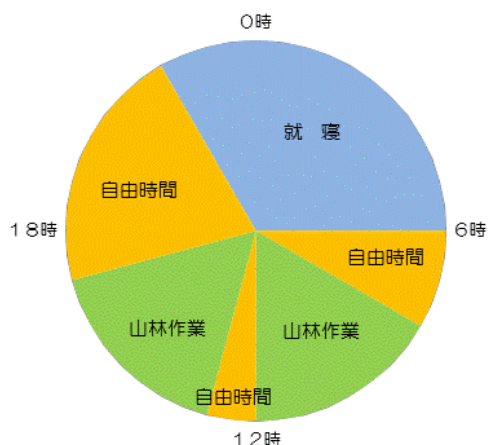


↑  
フォワーダ（ダンプ機能付き）  
ウインチ付グラップル  
ハーベスタ →

機械装備の一部



【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

山での仕事が効率よくできるように、機械の改良にも取り組んでいます。

一例として、一人でも集材作業が効率よく行えるように、バックホウに2胴ウインチを装着し、ラジコンでの操作を可能とした、「あつめ太郎」(下写真)を紹介します。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】						
← 山林作業 →					← 休日 →	



ラジコン付きダブルドラムウインチ「あつめ太郎」

☆これからの夢や目指すもの☆

経営の安定化のため、経営面積を増やしていきたいと思っています。現在は息子との2人作業ですが、安全第一で、安全確認に留意して作業をしています。

☆メッセージ☆

継続は力！良質材生産のため、枝打ちは継続して実施している。途中でやめてしまっはいいものはできない。